

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 第2回小川町地域公共交通活性化協議会	
開 催 日 時	令和5年2月7日(火) 開会時刻 午後2時00分 閉会時刻 午後3時00分	
開 催 場 所	小川町民会館(リリックおがわ) 会議室1・2	
出 席 者	役職名	氏名
	会長	尾崎 晴男
	副会長	藤井 大司
	委員	石川 勝
	委員	小川 ゆかり
	代理	高野 行純
	委員	大山 博
	委員	小熊 和久
	委員	山岸 実
	委員	田端 健二
	代理	神宮 一雄
	委員	五十嵐 康博
	委員	鈴木 好幸
	委員	松岡 良治
	委員	田端 大久實
	委員	土田 芳夫
委員	安野 育男	
会 議 の 議 題	(1) 小川町デマンドタクシー運行形態の見直しについて (2) 利用者意向調査について	
会 議 の 公 開 又 は 非 公 開 の 別	公開	
会 議 の 非 公 開 の 理 由	-	
傍 聴 人 の 数	8人	
発 言 の 内 容	別紙「発言の要旨」のとおり	
会 議 資 料	別紙のとおり	
事 務 局	都市政策課 都市政策担当	
議 事 の 確 定	確 定 日	令和5年 3月 6日
	記 名 押 印	役職名 会長 尾崎 晴男 ㊟

発言者	発言の要旨
	<p>(1) 小川町デマンドタクシー運行形態の見直しについて</p> <p>(2) 利用者意向調査について</p>
鈴木委員	利用者の年齢の状況が分かれば教えていただきたい。
事務局	利用者の年齢は、概ね60歳・70歳以上の方が8割以上を占めており、その方たちが最もデマンドタクシー事業をご利用いただいている状況である。
鈴木委員	16歳以上が利用できることになっているが、30歳代ぐらいまでの利用状況はどうなっているのか。
事務局	10歳～30歳代までの方の利用割合は、それぞれ2%程度だが、全く利用がないわけではない。
五十嵐委員	<p>見直しの例の中で、個人負担額が500円から700円の増額になってるが、仮に200円の増額でどのくらいの財政的負担が軽減されるのか。</p> <p>利用制限の例は、仮に実施した場合に管理コストがかかるとのことだが、どれぐらいのコスト増、削減効果が見込まれるのか。</p>
事務局	<p>1点目の個人負担額増額については、令和3年度を基準にした場合、200円の増額で約550万円の町の補助額削減につながる。令和4年度はまだ実績が出ていないが、今の利用ペースでいくと約630万円の削減になる見込みである。</p> <p>2点目の利用制限のコストについては、運行事業者である小川観光タクシーと具体的な方法の協議はされていないが、利用制限の方法によってはシステム導入などで数百万規模の負担が出てくるのではないかと考えている。</p>
五十嵐委員	仮に個人負担額を200円上げても、まだまだ今年度の補正予算額に届かない削減額だと思う。合わせて考えられる方策として協賛金があり、少しでも予算的に持続可能な事業にしていくため早期に着手すべきだが、考えられる方策はあるのか。
事務局	小川町のデマンドタクシー事業は、乗合い方式ではなく個別輸送で行っている。また、乗降スポットもバス停の施設ではないため、事例が中々見つからない状況であるが、収入を得る方策は引き続き調査を継続していきたい。
五十嵐委員	同じような運行形態の自治体の運賃がどうなっているのか、分かれば教えていただき

	たい。
事務局	近隣では東松山市が同じ運行形態をとっており、タクシーメーター料金に応じて500円・800円・1000円・1500円の4段階制になっている。また、川島町も同じ運行形態で、町内の利用と町外の病院の利用で料金を分けており、小川町よりも高い金額で設定されている。
土田委員	一番利用されている地区・乗降地・時間帯などが分析されていると思う。特定の時間帯を値上げしたり、利用が集中する時間帯にタクシーを多く配置してもらうなど、様々な方法が考えられると思うが、現在の料金は平等ではない気がする。時間帯ごとの利用状況はどうなっているのか。
事務局	時間帯は、やはり日赤病院を利用する方が多いので午前中に集中している。ただし、コロナ禍の影響もあり、利用時間帯をずらして利用されている方もおり、夕方の空いている時間帯の利用も増えてきたと聞いている。
土田委員	忙しい午前中の時間帯で待ち時間が発生しているのか。
事務局	利用が集中する時間帯には1時間程度待つ場合があるという話を利用者より聞くことがある。
尾崎会長	やはり病院等に行きたい利用者は、午前中の希望が多い時には長い待ち時間であったり、他の方法を取らざるを得ないことがあったり、また、他の目的であれば利用時間を変えるなどの工夫がされている実態があるということだと思う。
五十嵐委員	アンケート調査票案の問2は、運行時間の短縮や運行日の削減などの見直し方策の設問であるが、資料が少なすぎて答えられるのかと思った。また、問1では回答に「満足」「不満足」とあるが、現時点で「満足」「不満足」を選ぶ形で良いのか疑問がある。また、回答者に公共交通の空白地を埋めるためのデマンドタクシーという意図が伝わるのか気になった。アンケートを取ることは良いと思うが、調査票の改善が必要である。
事務局	ご指摘の通り、アンケートの意図が伝わらないと効果が出てこないと思うので、もう少し内容を検討したい。
松岡委員	今のままでは運行が成り立たなくなるということで、出されている見直し案を提示して、良いもの・悪いものを把握するようなアンケートを取らないと意味がない。採算が取れる方法はどれだろうということ聞いた方がこの問題には近い。このアンケー

	ト結果を見て、今後何を指標にしていくのかが全く見えない。
事務局	ご指摘の内容を事務局としても検討した経緯があり、行政として直接的に聞くことが適切なのかという問題もあったため現在の案を提示しているが、ご指摘を踏まえて再度検討したい。問1は、令和元年度のアンケート調査でも聞いており、コロナ禍を経てどのような意識の変化があったのか調べたい意図がある。
松岡委員	問1-1はすごく利用している人ならば「満足」、問1-2ならば「やった方が良い」と回答すると思われる。調査前に概ねの結果が既に見えており、答えが見えているアンケートをしてもしょうがない。
事務局	町としては、利用者の生の意見を聞かなければならないと思うので、実施はしたいと考えている。
尾崎会長	今回のアンケートの回答は見えていると言われるが、必ずしも完全に見えているわけではない。より効果的なものを求めるのはわかるが、一方で、現況あるいは令和元年からの変化が分ることも大切であると思う。
松岡委員	近隣のデマンド交通の実態を利用者にお知らせしてはどうか。小川町が恵まれていることを知ってもらった上で、アンケートの回答をもらったほうが良いのではないか。
事務局	ご指摘を踏まえ、近隣のデマンド交通の状況を調査票に追加したい。
尾崎会長	アンケートについては細かい部分で修正が必要と思うが、今後の見直しの方向性として事務局案が良いのか確認する必要がある。今後、事務局提案の見直しの方向性で検討を進めることを当協議会として承認するという事によろしいか。承認をいただける方は挙手をお願いしたい。
各委員	挙手全員
尾崎会長	ありがとうございました。そうしますと本日の議事を終了したい。